



エネルギー管理ソリューション

Power BoostおよびEco-Smart 設置ガイド

バージョン1.0

日本

目次

本文書の目的と範囲	4
始める	6
パワーメーターの設置	10
構成	44
Power Boost	44
Eco-Smart	52

パワーメーターの設置

本文書の目的と範囲

本文書の目的と範囲は、Eco-SmartおよびPower Boostエネルギー管理ソリューションの設置手順を概説することです。

パワーメーターの設置 始める

重要な通知

- A.** 充電器の設置ガイドに記載されている手順に従って、充電器を設置します。詳細は、Wallboxアカデミーページ上のユーザーガイドを参照してください。
- B.** Wallbox または Wallbox エネルギー管理ソリューションとの併用が承認された Wallbox 認定再販業者が販売するスマートメーターのみを使用してください。
- C.** 設置は、適用される地方条例に従って、有資格者のみ行うことができます。
- D.** スマートメーターを設置する前に、Wallbox充電器を最新のソフトウェアバージョンにアップデートしてください。Wallboxアカデミーページ上のアップデート手順を参照してください。
- E.** スマートメーターを接続する前に、充電器の電源がオフで、そのカバーが外れていることを確認します。設置後、充電器を適切に閉じます。
- F.** 充電器の設置後、充電器を閉じる前にスマートメーターを接続します。充電器が既に設置されている場合は、充電器の設置手順に従って、充電器を開けてください。

パッケージ内側



エネルギーメーター



メーター配線ガイド

パワーメーターの設置 始める

互換性のある装置



Wallbox Pulsar Plus

設置に必要なツールの完全なリストは、[Pulsar Plus 日本](#)の設置ガイドを参照してください。

ツール

A



小型のマイナス
ドライバー

B



T20ドライバーま
たはビット

C



曲尺

D

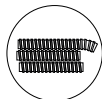


マルチメーター

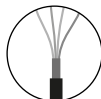
材料 (同梱されていません)



3/4導管ハブ



導管



推奨ケーブル
(STPクラス5E 最小
1600 ft/ 500 m)

パワーメーターの設置 設置

準備

電源入力とEVコネクタケーブル出力の間の充電器下部に位置する小さな開口を使います。



通信ケーブルの配線のためにこの開口を使う場合、始めにねじ込みプラグを取り外します。プラグの下部側(外部)からマイナスドライバーを使ってプラグのねじを緩める際、内部のロックナットをレンチを使って押さえます。

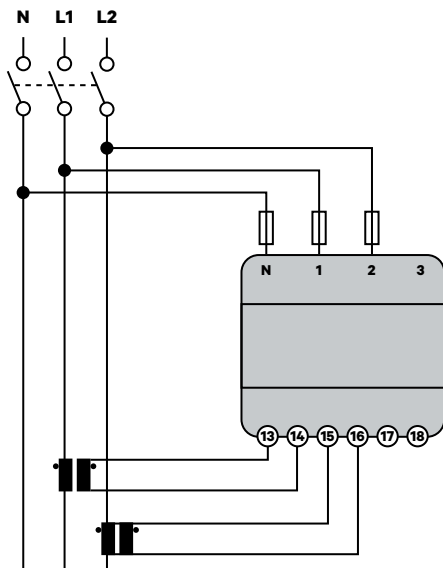
パワーメーターの設置 設置

システムの配線

このメーターは、以下の要件を備えた設置のみ対応しています。

- 3線設置：活線2本+中性線
- 相間電圧：208～240 V
- 相-中性線電圧：120 V

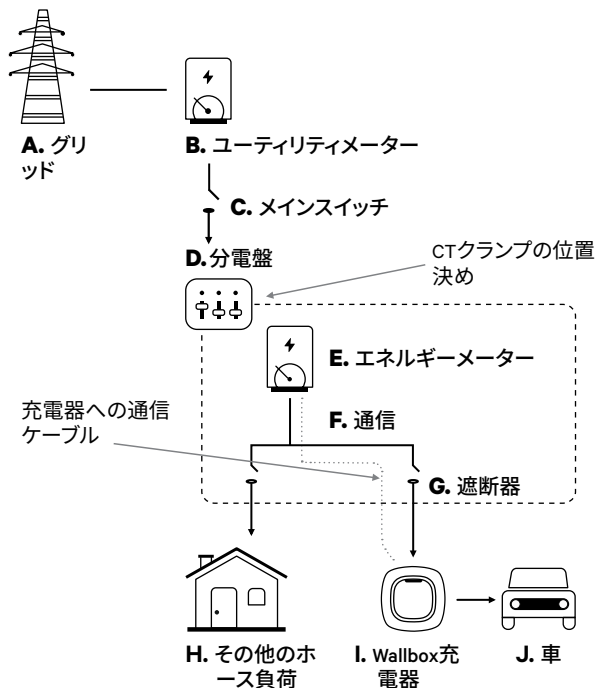
システム配線図に従って下さい。



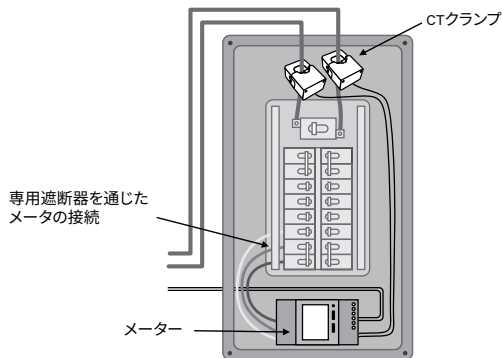
パワーメーターの設置 設置

位置決めと外観

CTクランプと通信ケーブルを充電器に接続するには、以下の枠組みに従います。



パワーメーターの設置 設置



回路保護

EM530は常時接続装置を考慮するので、機器の許容定格を超える電流に対する過電流保護装置が必要です。

- 定格20A以下の回路遮断器またはフューズを使用します。
- 回路遮断器は、全活線相、L1とL2を保護する必要があります。
- 回路保護は、地域の規格に準拠する必要があります。
- パネル上に自由に使えるスペースがない場合、パワーメーターは、外部筐体に設置できます。

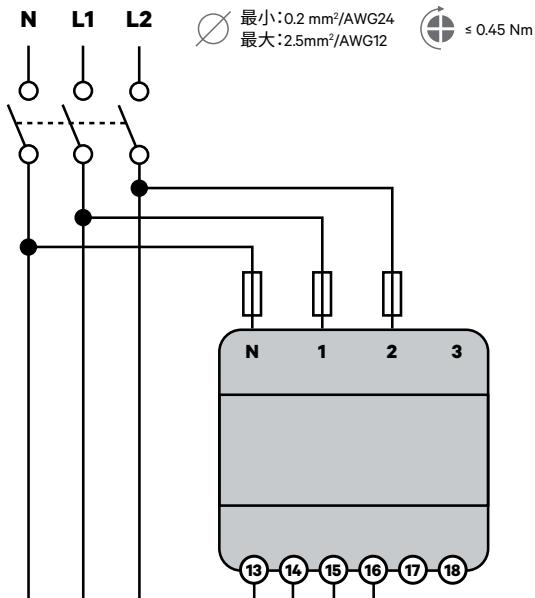
通信線

メーターと充電器の間には、配線された通信線が存在する必要があります。このため、STPクラス5E（最長1600フィート/500メートル）を使います。

1. 接続を進める前に、電源がオフになっていることを確かめます。

パワーメーターの設置 設置

2. 分電盤があるボックスで、メータを設置するためのスペースを開けます。可能なら、メーターを分電盤の筐体（ボックス）の内側に取り付けます。
3. 分電盤のメータに保護を追加します。
4. メーターから出る端子N1およびN2を分電盤から出る中性線および2本の活線に配線します。



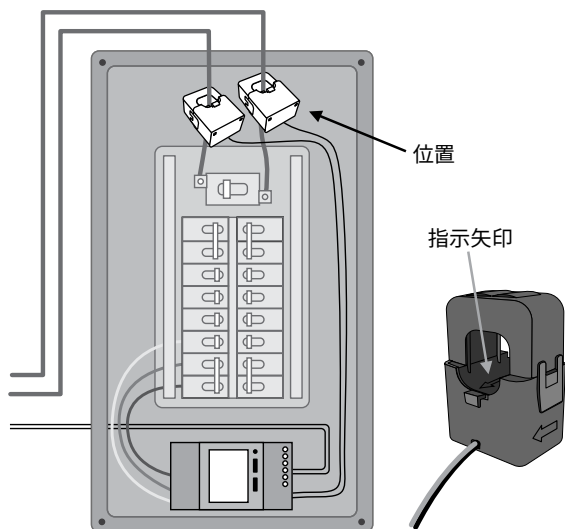
パワーメーターの設置 設置

5. 図示のようにCTクランプを入ってくる「活線」に接続します。



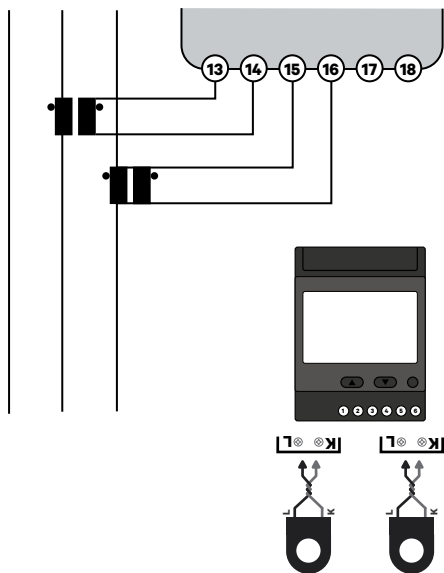
重要

クランプを設置する際は、電流方向を示す内部の矢印に従ってください。



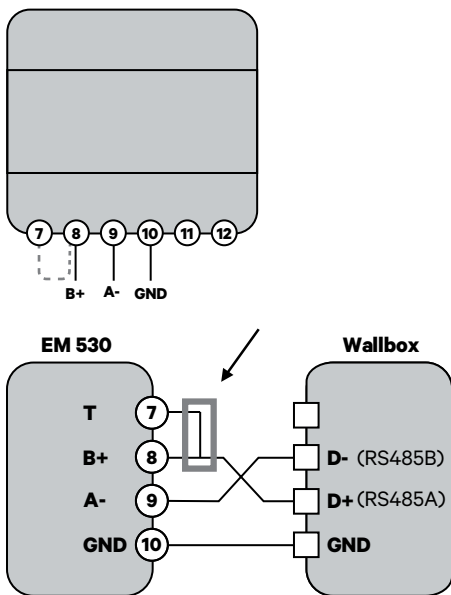
パワーメーターの設置 設置

6. 以下の接続点を使ってCTクランプをメーターに配線します。
- 13-赤のワイヤ/CT1
 - 14-黒の電線/CT1
 - 15-赤のワイヤ/CT2
 - 16-黒の電線/CT2



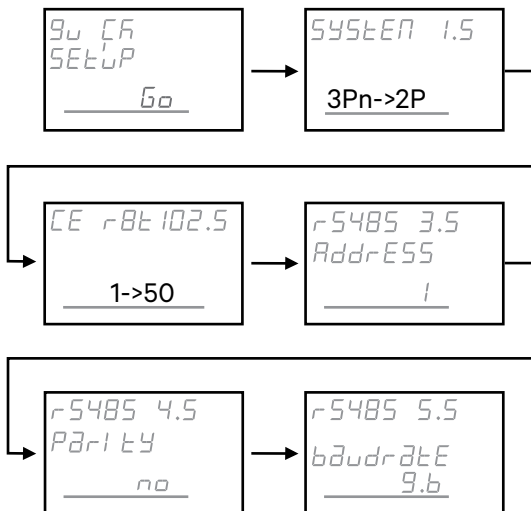
パワーメーターの設置 設置

7. STPクラス(最長1600フィート/500メートル)通信ケーブルを使ってメーターを充電器に接続します。充電器とメーターの間の通信に必要なのは3本の電線だけです。端子7~8間の接続は、通信の終端抵抗器を作動させるためのループです。



パワーメーターの設置 設置

8. 設置マニュアルと地方条例に従って、全てが適切に接続されていることを確かめます。
9. ソフトウェア構成に進みます。メーターに電力が供給されている時点で、画面にはクイックセットアップメニューが表示されます。



パワーメーターの設置 設置

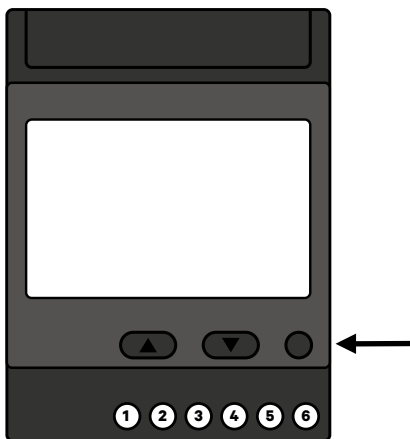
- 9.1. [GO]を選択します。
- 9.2. システム画面上で、**[2P]**まで下にスクロールして、[Enter]を押します。
- 9.3. Ct rAtメニューに進みます。
- 9.4. [OK]を押します。
- 9.5. **[Ct rAt値]を最大50**に設定して、同梱の250 Aクランプと一致するようにします。
- 9.6. メーターは正常に構成されました。

パワーメーターの設置 設置

注意書き

Eco-Smart設置では、以下の構成も完了させる必要があります。

1. メーター上に置かれた[ENTER]ボタンを押します。



パワーメーターの設置 設置

2. 設定メニューに到達するまで、[Enter]ボタンを押します。



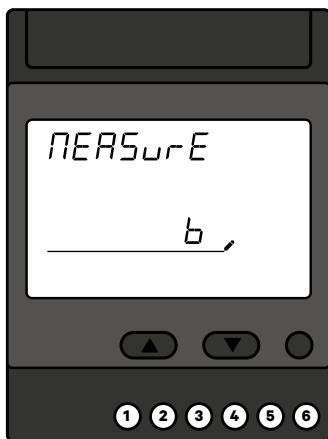
パワーメーターの設置 設置

3. 下向き矢印ボタンを使って、[Ct rAt測定]までスクロールします。



パワーメーターの設置 設置

4. [ENTER]を押します。
5. bまで下にスクロールします。



パワーメーターの設置 設置

6. [ENTER]を押します。
7. [Enter]をもう一度押して設定を保存します。

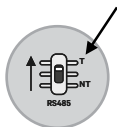


8. [終了]まで下にスクロールします。
9. [戻る]まで上にスクロールします。

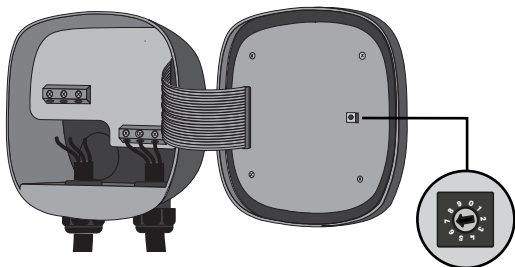
パワーメーターの設置 設置

終端抵抗を作動させ、電流セクターを構成します。

1. RS485スイッチをTの位置に入れます。



2. 接続した回路で利用可能な最大電流に基づいて回転スイッチを1～7の間に設定します。



パワーメーターの設置 設置

- 3.** 国の法律と地方条例により、充電器は、装置の選択した最大アンペア数設定の125%の分岐回路過電流保護を備えた回路にのみ接続してください。

以下の表の通りです：

位置	アンペア	回路遮断器定格
2	16A	20A
3	20A	25A
4	24A	30A
5	32A	40A
6	40A	50A
7	48A	60A

この制限は、EV充電器に設置された電線と遮断器のみを考慮しています。

安全な設置を保証するために免許を持つ設置業者または電気技師と一緒に作業することをお勧めしています。専門の電気技師は、必要な負荷計算を実行し、最大限安全な設置を判断できます。

- 4.** 設置ガイドに記載されている手順に従って、充電器のカバーを閉じます。

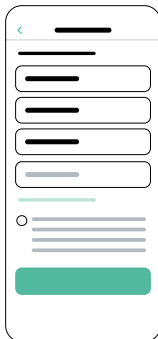
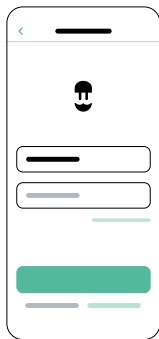
POWER BOOST

構成

Power Boostを有効にします。

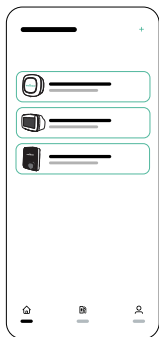
充電器とスマートメーターを設置したら、以下の手順に従ってPower Boostを有効にします。

1. モバイル機器上に最新バージョンのmyWallboxがインストールされていることを確かめます。また、Wallbox充電器に最新バージョンのソフトウェアがインストールされていることを確かめます。
2. モバイル機器上でBluetoothを有効にして、充電器に接続します。以下の手順のそれぞれの間、Bluetooth信号の有効距離（通常、30フィート（1メートル）未満）内に留まるようにしてください
3. はじめての方は、アプリ上の案内に従って、新しいmyWallboxアカウントを作成します。アカウントを作成したら、アカウントのユーザー名とパスワードを使って、myWallboxにログインします。

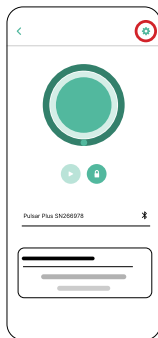


POWER BOOST 構成

4. Power Boostを有効にした
充電器を選択します。



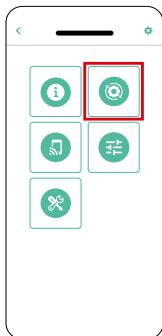
5. アプリは、充電器と同期
されます。完了したら、ア
プリ画面の右上隅のアイ
コンをクリックして、
【設定】に移動します。



POWER BOOST

構成

- 6.** 構成画面上で、[アップグレード]を選択します。
- 7.** アップグレード画面上で、[Power Boost]を選択します。



POWER BOOST 構成

8. システム/分電盤に最大電流制限を導入します。



重要

正しく作動するのは、フェーズあたりの最大電流が6アンペア以上の場合のみです。ご不明点がありましたら Wallboxカスタマーサービスまでご連絡ください。



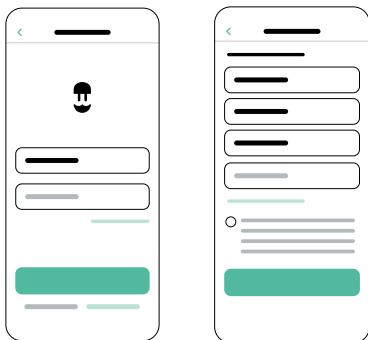
注意

Power Boostのセットアップ時は、すべての地方条例に従い、地方条例で別途制限されている場合は、より高い電力定格を有効にしないでください。お住まいの地域の規制に精通している専門の設置業者に相談するようにしてください。

ECO-SMART 構成

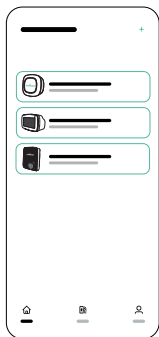
Eco-Smartの有効化

- 1.** モバイル機器上に最新バージョンのmyWallboxがインストールされていることを確かめます。また、Wallbox充電器に最新バージョンのソフトウェアがインストールされていることを確かめます。
- 2.** モバイル機器上でBluetoothを有効にして、充電器に接続します。以下の手順のそれぞれの間、Bluetooth信号の有効距離(通常、30フィート(1メートル)未満)内に留まるようにしてください
- 3.** はじめての方は、アプリ上の案内に従って、新しいmyWallboxアカウントを作成します。アカウントを作成したら、アカウントのユーザー名とパスワードを使って、myWallboxにログインします。

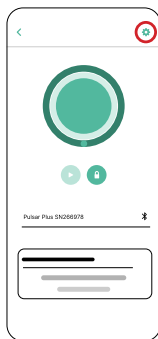


ECO-SMART 構成

4. Power Boostを有効にした
い充電器を選択します。

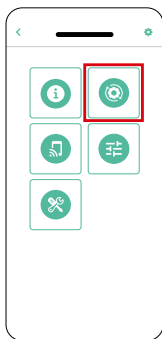


5. アプリは、充電器と同期
されます。完了したら、ア
プリ画面の右上隅のアイ
コンをクリックして、
【設定】に移動します。



ECO-SMART 構成

6. 構成画面上で、[アップグレード]を選択します。



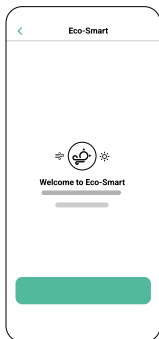
7. アップグレード画面上で、[Eco-Smart]を選択します。

注記:Eco-Smartを有効にする前に、Power Boostを作動させることをお勧めします。Power Boostを作動させたら、[Eco-Smart]アイコンをタップして、その設定にアクセスします。



ECO-SMART 構成

8. 「はじめましょう」をタップして、Eco-Smartを使い始めます。

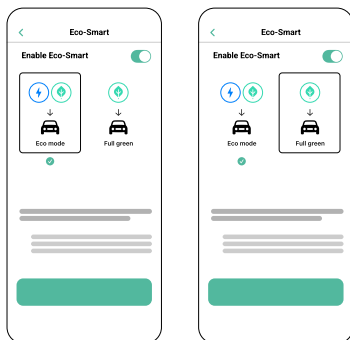


9. ボタンをONの位置に切り替えて、Eco-Smart機能を有効にします。



ECO-SMART 構成

- 10.** お好みのEco-Smartモードを選択します；
Full-GreenまたはEcoモード。

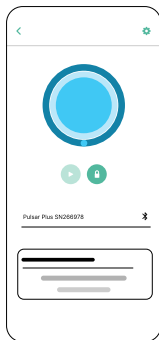
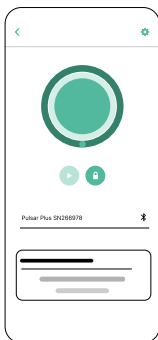


- 11.** [保存]をクリックします。これで、Eco-Smartは
選択したモードで作動しました。

ECO-SMART 構成

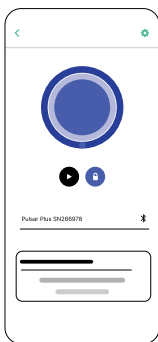
Eco-Smartの使用

1. 必要な場合、充電器のロックを解除します。
2. お乗りのEVに充電ケーブルを接続します。LEDの後光が、薄い青色に変わり、myWallboxアプリに、メッセージ「接続しました。グリーンエネルギーの待機中です」が表示されます。



ECO-SMART 構成

3. 選択したモードにより、モード条件が満たされると、2分後に充電は自動的に始まります。充電中、少なくとも連続した30秒間、グリーンエネルギーの余剰が不足している場合、充電は一時中断します。再度モード条件が満たされ、十分なグリーンエネルギーが利用できる場合、充電は再開します。



注意



重要

- Eco-Smartは、お使いのBESS（バッテリーエネルギー貯蔵システム）を放電させる恐れがあります。
- 定期充電および手動での充電はEco-Smart機能に優先します。



support.wallbox.com